

# 小口径管路のニーズ発掘・技術の普及等に貢献する 管路診断コンサルタント協会の役割

## キーワード

下水道管さよ, 更生技術,  
修繕技術, 協会の取り組み,  
点検調査機器



## 1. はじめに

国内の社会インフラの老朽化が進む中、令和2年12月には「防災・減災，国土強靱化のための5か年加速化対策」が閣議決定され、下水道施設についても防災拠点等の重要施設に係る下水道管路や下水処理場等を耐震補強することにより、地震時の最低限の排水機能を確保することが明記された。このような中、小口径管路の非開削修繕・更生技術の需要は益々高まることが予測される。

本稿では、本協会の役割，修繕・更生技術の現状・課題等を整理し，協会の役割を果たす上で必要となるこれらの技術に期待したいことを述べる。

## 2. 管路診断コンサルタント協会の役割

「一般社団法人管路診断コンサルタント協会」は、管路構造物の耐久性を評価する調査・診断とそれに基づいた的確な改築・修繕工法およびこれに要する材料等の評価に努め、計画的な事業実施のための管路構造物診断技術に係る総合システムの構築を図り、下水道事業の普及発展により、社会公共の福祉の増進に寄与することを目的に平成10年4月に発足した。平成21年3月には更なる管路施設の計画的な改築・更新に関するコンサルティング業務の拡大に向けて一般社団法人化した。現組織を図-1に示す。



図-1 管診断コンサルタント協会 組織図<sup>1)</sup>

本協会は、設立時の目的を達成するために継続的に以下の事業に取り組んでいる。

- ・管路構造物の診断業務に関する情報の収集，診断機器の活用に伴う技術開発及び科学的手法を用いた診断評価システム並びに管理システムの研究・分析・修得
- ・管路構造物の補修，更生工法に関する情報収集及び診断に基づく適切かつ経済的な工法の技術評価